

第 4 回再検討部会の意見と質疑回答

## 第4回再検討部会の意見と質疑回答

| 南委員<br>(長崎市営松山平和運動公園を守る会) | 意見・質疑   | 回答・対応   |
|---------------------------|---|---|
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民総合プールを移転整備する費用のうち、市民総合プール本体の建設費用の概算を、候補地の比較には関係しないという理由で示されていないのはなぜか。</li> </ul>   | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再検討部会は、プールの規模や機能を議論する場ではなく、再配置先について議論する場である。</li> <li>プールをどちらの候補地に配置しても、本体建設費の差は生じないことから、経済性の評価に含めていない。</li> <li>参考として、平成8年に供用開始した既存の市民総合プールの建設費は約50億円(既存施設の解体費含む)、SAGAアクアは約115億円、宮崎県プールは約102億円の建設費がかかっている。</li> </ul>   |
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>新しく整備する市民総合プールの規模が示されなければ、屋外の流れるプールを含む子ども向け、ファミリー向けの施設が縮小されるという懸念が払拭されず、どの程度の基礎工事が必要になるのか検討がつかない。</li> </ul>   | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再配置先の検討にあたっては、現状と同程度の規模(1.4ha)や機能のプールが配置できる場所を候補地の抽出条件としている。</li> </ul>  |
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>中部下水処理場に近い浦上川流域の道路建設などに携わったことのある専門の技術者から、基礎の整備方式には、支持地盤に杭を直接打ち込む支持基礎杭と杭の周辺摩擦抵抗で持たせる摩擦杭の2通りがあると聞いている。また、盛土工事や構造物の基礎を施工する際に、地耐力がない場合、石灰などの改良剤を混ぜる地盤改良があること、支持地盤に直接構造物(プールの基礎)を建設する直接基礎の3種類があると聞いている。</li> <li>支持地盤の土質や深さに応じて、杭の長さや地盤改良材の数量が異なるのではないか。</li> </ul> | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民総合プールの基礎比較では、現状把握できる情報(各候補地の地盤条件と上屋の荷重条件など)を前提に、基礎の規模・形式や地盤改良材の数量を想定し、概算事業費を算出している。</li> <li>摩擦杭は、液状化リスクがあるため比較検討に入れていない。</li> </ul>   |
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボーリングによる地質調査の結果をもとに、両者の概算工事費を算出するうえでの深度の決定の仕方を説明していただきたい。</li> </ul>   | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場の支持地盤の深度は、市民総合プールのボーリングデータを基に設定している。</li> <li>中部下水処理場の支持地盤の深度は、地表から安定地盤までの深さについて中部下水処理場の図面やボーリングデータを基に設定している。</li> </ul>  |
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の市民総合プールの基礎や、中部下水処理場の約5,000本の杭の長さを教えてほしい</li> </ul>  | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状の中部下水処理場の基礎杭の長さは、支持地盤までとなっている。</li> <li>具体的な長さは、施設によって異なるが、13m程度である。</li> </ul>  |
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>中部下水処理場に近い浦上川流域の道路建設に携わったことがある専門技術者から中部下水処理場付近の橋脚の基礎工事で苦勞した記憶はないと聞いているが、15億円の根拠を教えてください。</li> </ul>  | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎の整備費用については、以下の考え方に基づき検討し、経済性に優れた施工方法から試算している             <ol style="list-style-type: none"> <li>①中部下水処理場の地盤条件(ボーリングデータ等)や地下工作物の埋設状況等、現段階で把握できる情報から工法を検討</li> <li>②類似施設の実績や既存の市民総合プールの設計図から、プールの屋根や観客席、必要設備の長期荷重を設定</li> <li>③地震や風圧などの短期荷重と①の長期荷重に対して、建築基準法の許容応力度以内になるように基礎の構造や本数、配置を設定</li> <li>④設定した基礎条件を基に施工業者にヒアリングなどを行い、費用を試算</li> </ol> </li> </ul> |
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>中部下水処理場に再配置された場合の駐車場に関しては、隣接する市営茂里町駐車場を活用できるのではないか。</li> </ul>   | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市営茂里町駐車場は、長崎ブリックホールの附置義務駐車場となっており、市民総合プールの利用者を想定した規模となっていない。</li> </ul>  |

第4回再検討部会の意見と質疑回答

|                                   | 意見・質疑   | 回答・対応  |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>南委員<br/>(長崎市宮松山平和運動公園を守る会)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場整備に2億円かかるというのは、非常に高いのではないか。</li> </ul>  | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が実施した直近の事例を参考に算出している。</li> <li>・ なお、駐車場の整備には、舗装工事のほかに、雨水排水施設、入庫ゲート等の精算設備、照明設備等が必要なため、これらを含んだ金額となっている。</li> </ul> <p>○茂里町駐車場の整備費用<br/>         収容台数:135台<br/>         整備内容:舗装工事、雨水排水施設、入庫ゲート等の精算設備、照明設備等<br/>         整備時期:令和2年度<br/>         整備費用:(土木・電気工事)97,000千円+(精算設備)31,000千円=128,000千円</p> <p>○中部下水処理場に駐車場を整備する場合の試算<br/>         収容台数:200台<br/>         物価上昇率:1.1<br/>         整備費用:(97,000千円/135台×200台+31,000千円)×1.1=192,174千円≒2億円</p> |
| <p>渡辺(雄)委員<br/>(長崎市スポーツ協会)</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部下水処理場に市民総合プールを整備する場合は莫大な費用がかかるが、なんとかクリアする方法はないのか。市民総合プールの整備費用がかかるから陸上競技場をなくしたとは将来のアスリートに言えない。</li> <li>・ 今回初めて候補地を評価してあるが、客観的に見て評価が偏っているように思われ、中部下水処理場の方が、欠点が多いというような記載・記述が見受けられる。事務局には、公正な立場で数値を出してほしい。</li> </ul>      | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民総合プールは県の建物補償費をもとに整備することになるが、減価償却により全ての建設費用が補償されるものではないため、市の単独予算を加えて整備する必要がある。</li> <li>・ 事業費が増えることで多くの市民の負担が増えることになるため、公共事業を進めるうえで、経済性の視点は重要な要素であるが、市民総合プールだけでなく陸上練習場の再配置先も含め議論を行っていく。</li> </ul> <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回再検討部会でお示した総合評価(案)は、これまでの委員の意見を踏まえ、設定した評価項目や現状の把握できる整備条件を基にできるだけ定量的に評価したものであるが、人によって捉え方が異なることもあることから、「○」や「△」などの評価は行わないこととする。</li> </ul>  |
| <p>田中委員<br/>(長崎游泳協会)</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5回再検討部会では、陸上競技場、市民総合プールに加え、長崎市民のための憩いの広場となる芝生公園も評価してほしい。</li> </ul>   | <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広場の設置についても評価を行う。</li> </ul>   |
| <p>片山委員<br/>(長崎大学総合生産学域)</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくりの観点からの議論では、各候補地の潜在的可能性について考えなければならない。</li> <li>・ この敷地ではなく別の敷地にした場合には、どのような可能性が出てくるのかという広い観点から議論があってもよいのではないかと思う。</li> <li>・ 潜在的な可能性に関してはプラスの効果の議論になりがちだが、一方でこの案になった場合にはこういう課題が考えられるというデメリットも含めた総合評価が必要と思う。</li> </ul> | <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民総合プールだけでなく陸上練習場の候補地も合わせて、課題や効果、将来性などの多角的な視点から評価を行う。</li> </ul>  |

## 第4回再検討部会の意見と質疑回答

|                                  | 意見・質疑   | 回答・対応  |
|----------------------------------|---|--|
| <b>村木委員</b><br>(長崎国際観光コンベンション協会) | <ul style="list-style-type: none"> <li>経済性や交通アクセスなどの細かな質問については、南委員と土木部で意見交換してほしい。客観性についての意見交換は、この場で行うべきではない。</li> </ul>   | (回答)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>評価内容や事業費の算出方法について、3月7日(木)に意見交換を行い、質疑への回答を2回行った。(P5以降を参照)</li> </ul>   |
|                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の陸上競技場は再配置した場合には「陸上練習場」となるという前提があるため、その部分を意識共有すべき。</li> </ul>  | (回答)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>パターン3～5の場合には、陸上練習場の再配置先として検討する。</li> </ul>  |
| <b>山川委員</b><br>(長崎市陸上競技協会)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関からのアクセス性について、バスと電停からの距離の比較があるならば、JRの駅も評価の基準に入れるべきではないか。</li> </ul>   | (対応)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>JR長崎駅や浦上駅から候補地へのアクセス性を評価する。</li> </ul>  |
|                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>機能性の評価について、中部下水処理場が平和公園の陸上競技場よりも、面積や形状も含めて優位であるため、優劣をつけるべきではないか。</li> </ul>  | (回答)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>いずれの場合も市民総合プールの再配置が可能な場所として選定しているため、優劣はつけていない。</li> </ul>   |
|                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの観点から見たときに、駐車場ありきの施設が今後必要なのかという点も検討すべき。</li> </ul>  | (回答)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>市民総合プールを中部下水処理場に配置する場合には新たな駐車需要が発生するため、駐車場の整備を見込んでいる。</li> <li>なお、駐車場の必要台数は公認プール施設要領を参考に200台程度を想定した。</li> </ul>   |
|                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>中部下水処理場の跡地には何らかの施設をつくるのが根底にあるため、市民総合プールの基礎工事にかかる15億円は、どんな施設を整備するにしても必要経費なのではないかと考えられる。従って、その費用の試算を用いた評価は、偏った評価であると思われる。</li> </ul> | (回答)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>中部下水処理場に市民総合プールを整備する場合には、基礎の整備費用として15億円かかる見込みであるが、例えば、広場や駐車場として活用する場合には発生しない費用である。</li> <li>したがって、中部下水処理場の跡地活用の用途によって異なる費用であり、必要経費となるものではない。</li> </ul> |
|                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>(第4回再検討部会)資料1のP8道路横断について、公共交通機関から中部下水処理場にアクセスする上で、道路横断箇所が3～4箇所あるとされている。現状はJRの高架下に道路は無いが、整備予定であるため、そこを横断箇所として数えているのか。</li> </ul>    | (回答)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>長崎県において都市計画道路「長崎駅東通り線」の整備を進めており、将来的に道路横断が必要となるため、横断箇所としている。</li> </ul>  |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑  | 回答   |
|-----|--|--|
| 1   | <p>市案に対する当会の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4回再検討部会(資料1)の内容を見ると、8Pの「3 市民総合プールの候補地の総合評価(案)」で市が示した評価の結論は、プールの移転先として「松山陸上競技場が適当」としており、全く納得できない。「公共交通機関のアクセス、駐車場、交通混雑」の総合では中部下水処理場跡地と松山陸上競技場に有意な差があるとは考えられない。</li> </ul>  | <p>⇒公共交通機関のアクセス性では、電停等の起点から施設整備が想定される敷地境界までの距離と、交通の安全性(道路横断箇所数)、利便性から定量的に評価しました。また、駐車場や交通混雑については、駐車場整備の必要性や市民総合プールが移転することによる交通混雑の可能性を評価しています。</p> <p>ただし、評価方法については、第4回で出された委員の意見も踏まえながら次回の再検討部会に向けて資料を整理します。</p>   |
| 2   | <p>市案に対する当会の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備費用で中部下水処理場跡地の場合約27億円、松山陸上競技場の場合約3.6億円～4.2億円とした根拠もよく分からない。</li> </ul>   | <p>⇒約27億円の根拠は、新たな市民総合プールの規模や中部下水処理場の地盤条件(ボーリングデータ等)、地下工作物の埋設状況等の現段階で把握できる情報から、施工可能な基礎構造や撤去方法を選定し、経済性に優れた基礎整備費用と地下構造物の対策費用、その他整備費用の合計です。</p> <p>⇒約3.6～4.2億円の根拠は、陸上競技場のトラック(タータン舗装)とインフィールド(芝生)の整備を想定し、類似の実績から試算した結果です。また、金額に幅があるのは、200mトラックから400mトラックを整備した場合の費用になります。</p> |
| 3   | <p>市案に対する当会の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平和公園という場所性の観点や長崎全体の街づくりの観点からも、なぜプールを松山陸上競技場へ移し、松山陸上競技場を現在地から外すのが適当なのか、さっぱり分からない。</li> </ul>  | <p>⇒場所性・将来性については、平和公園再整備基本計画や都市計画マスタープランなどとの整合性により有意な差はないと評価しましたが、第4回再検討部会の中で、「まちづくりの観点から各候補地の潜在的可能性について考えなければならない」などの意見がありましたので、それらの意見を踏まえながら、第5回再検討部会資料を整理します。</p>   |
| 4   | <p>第4回再検討部会【資料1】について、の疑問点、問題点①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民総合プールを移転整備する際の費用のうち、プール本体の建設費がどの程度かかるか。その概算を「候補地の比較には関係しない」との理由で示していないことである。なぜ、「上屋を除く」として、<u>本体建設費を示さないのか。</u></li> </ul>  | <p>⇒再検討部会は、プールの規模や機能を議論する場ではなく、再配置先について議論する場です。プールをどちらの候補地に配置しても、本体建設費の差は生じないことから、経済性の評価に含めていません。</p> <p>⇒参考になりますが、平成8年に供用開始した既存の市民総合プールの建設費は約50億円、SAGAアクアは約115億円、宮崎県プールは約102億円になります。</p>  |
| 5   | <p>第4回再検討部会【資料1】について、の疑問点、問題点①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民総合プールの移転整備費は基本的に県からの立ち退き補償で手当てされるにしても、新しく造るプールが現状の規模を維持するものなのか、あるいはこれを機に九州でも誇れるような充実したものを整備して付加価値をつけるものなのか、見当がつかない。</li> <li>私たちがこれまで懸念を表明してきた、流れるプールを含む屋外の子ども用、ファミリー向け施設が現状よりも縮小されるのではないかと問題について、その懸念を払しょくするに至っていないことは重要である。</li> </ul> | <p>⇒再配置先の検討にあたっては、現状と同程度の規模(1.4ha)や機能のプールが配置できる場所を候補地の抽出条件としています。</p>  |
| 6   | <p>第4回再検討部会【資料1】について、の疑問点、問題点①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中部下水処理場跡地という敷地にどのようなプールを造るのかある程度固めておかないと、どの程度の基礎工事が必要か出てこないのではないかと？</li> </ul>   | <p>⇒市民総合プールの基礎の条件としては、現状と同程度の規模(1.4ha)や機能のプールが配置できるように、他都市の事例等も参考にしながら、躯体や屋根構造、必要設備等から荷重条件を想定し、各候補地の地盤条件から施工可能な基礎構造を検討しています。</p>   |
| 7   | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再検討部会の各委員も土木や建設については専門外の方が多いと思う。市は別室で聴いておられる方々やインターネットを視聴しておられる多くの市民にも分かるように説明してもらいたい。</li> </ul>   | <p>⇒可能な限りわかりやすい説明資料の作成に努めますが、専門的な要素を含むことはご了承をお願いします。</p>   |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑  | 回答   |
|-----|--|--|
| 8   | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の資料5Pで、その支持地盤の位置について、中部下水処理場跡地は「比較的深い」とされ、松山陸上競技場は「比較的浅い」とされている。また、この支持地盤の位置の違いから、中部下水処理場跡地は「基礎底面から支持地盤までは柱状に改良する深層地盤改良を採用」としている。一方、松山陸上競技場は「直接基礎」とする部分と、「基礎底から支持地盤まではバックホウで改良する浅層地盤改良を採用」となっている。バックホウで石灰と土を混ぜるのだろう。この基礎の整備方式の違いが、両者の基礎整備費用の違いとなっていると考えられる。では、両者の概算工事費を算出するうえで、深度をどのように決定しているのか。</li> <li>ボーリングによる地質調査が実施されていると思うが、その結果を説明してほしい。</li> </ul> | <p>⇒陸上競技場の支持地盤の深度は、現市民総合プールのボーリングデータを基に設定しています。中部下水処理場の支持地盤の深度は、地表から安定地盤までの深さについて中部下水処理場の図面やボーリングデータを基に設定しています。</p> <p>⇒陸上競技場の地盤条件としては、5m程度の深度で岩盤が出現し、その上部は砂礫層、埋土が堆積しています。⇒中部下水処理場の地盤条件としては、13m程度の深度で岩盤が出現し、その上部は非常に軟弱な砂層や埋土が堆積しています。また地下水位が高いため、液状化の可能性があります。</p>   |
| 9   | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中部下水処理場を建設した際の設計図書などの資料に支持地盤の深度や杭の長さなどが記されているはずだが、それはどうなっているのか？</li> <li>松山町にある現在の市民総合プールの建設の際の設計図書などの資料ではどうなっているのか？</li> </ul>  | <p>⇒現状の中部下水処理場の基礎杭の長さは、支持地盤までとなっています。具体的な長さは、施設によって異なりますが、13m程度になります。</p> <p>⇒市民総合プールの基礎は、杭基礎で杭の長さは約5m程度になります。</p>   |
| 10  | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽質問2 先に触れた、中部下水処理場に近い浦上川流域の道路建設などに携わったことのある専門の技術者は「処理場付近の橋脚の基礎工事などで苦労した記憶はない。15億円の根拠を知りたい」と言っている。</li> </ul>   | <p>⇒基礎の整備費用については、以下の考え方に基づき検討し、経済性に優れた施工方法から試算しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①中部下水処理場の地盤条件(ボーリングデータ等)や地下工作物の埋設状況等、現段階で把握できる情報から工法を検討</li> <li>②類似施設の実績や既存の市民総合プールの設計図から、プールの屋根や観客席、必要設備の長期荷重を設定</li> <li>③地震や風圧などの短期荷重と①の長期荷重に対して、建築基準法の許容応力度以内になるように基礎の構造や本数、配置を設定</li> <li>④設定した基礎条件を基に施工業者にヒアリングなどを行い、費用を試算</li> </ol> |
| 11  | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地盤改良をするにしても、費用面から、「深く狭く」するのか、「広く浅く」するのか、比較検討が必要だとも話している。</li> </ul>  | <p>⇒地盤改良については、支持地盤まで改良しなければ不等沈下の原因となるため、支持地盤まで地盤改良することとしています。</p>  |
| 12  | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽質問3 これも技術専門家の意見だが、地下構造物を取り壊す案と一部残す案の二通りが示されているが。前頁で基礎形式に「地盤改良」を選定したのに、なぜ両案とも「杭基礎」になっているのか。考え方がバラバラではないか。</li> <li>10億円の根拠を示してほしい。</li> </ul>  | <p>⇒誤記です。申し訳ありません。正しくは「鋼材等が存在する場合には基礎整備(深層地盤改良)が難航する」です。</p> <p>⇒約10億円(②地下構造物を一部撤去)の根拠については、プールの建設に支障となる地下構造物の範囲、深さからコンクリート数量と土砂による埋戻量を出し、試算しています。</p> <p>また、地下構造物の撤去を行う際に、地下水の流入や土圧の変化による倒壊を防止するため、プールの外周部(L=480mと仮定)に山留を設置することを想定し、試算しています。</p>  |
| 13  | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一番安価に工事ができるのは、一部残す案を採用し、約5千本の既存の杭の強度を評価したうえで、必要な「増し杭」をする、というやり方ではないか。基礎の天端(てんば)から新しくできるプールの底盤までは地盤改良材を添加の上、強度を増した埋め戻し土を施工すれば、杭にプールの過重を持たせることは可能ではないか。</li> <li>既存の杭位置が確認できれば、産業廃棄物を減らす観点からも、現在の下水処理場跡地のメインの地下構造物である「エアレーションタンク」(沈殿槽)の底盤や側壁コンクリートは極力残し、既存の杭位置を確認できるなら、山留工の必要はなく、その上に盛り土する方法も考えられるのではないか。</li> </ul>   | <p>⇒(当日回答)中部下水処理場は、昭和36年に供用開始されており、ほとんどの施設が現時点で63年以上経過していますので、既存杭も耐用年数(鉄筋コンクリート造で65年)を迎えています。そのため、増し杭による対応は困難と考えられます。</p> <p>⇒当時の詳細な図面等がないため、底盤や側壁を残した状態で、既存の杭位置を確認することはできません。</p>   |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑   | 回答   |
|-----|---|--|
| 14  | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽質問4 駐車場の整備費用が2億円とされているが、非常に高いと思い、舗装工事の経験者に聞いてみた。整備面積は、各駐車枠が5.0m×2.3m=11.5㎡、これに前の道路幅5.5mの1台分2.75m×2.3m=6.325㎡を足すと、17.825㎡。つまり1台あたりに要する広さは約18㎡となり、200台分だと3600㎡(0.36ha)になる。整備費用は、まず地盤を均す「不陸整正」に㎡当たり230円、クラッシャーランと呼ばれる砂利で路盤を15cmの厚さにするのに㎡当たり1,150円、最後にアスファルト舗装を5cmとして㎡当たり1,630円、合計の直接工事費は㎡当たり3,010円になる。このほかに重機の輸送費や会社の経費が100%ほどかかるとして、合わせると㎡当たり約6千円という話だ。従って、6,000円×3,600㎡=2,160万円。市が示している2億円は桁が違う。根拠を伺いたい。</li> </ul>                         | <p>⇒市において実施した直近の事例を参考に算出しています。なお、駐車場の整備には、舗装工事のほかに、雨水排水施設、入出庫ゲート等の精算設備、照明設備等が必要なため、これらを含んだ金額となっています。</p>   |
| 15  | <p>第4回再検討部会【資料1】の疑問点、問題点② ▽質問5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽質問5 資料7Pに、中部下水処理場跡地も松山陸上競技場も地下水利用が可能か否かについては別途調査が必要とあるが、それはいつやるのか。</li> <li>中部下水処理場を建設する際には地下水の利用可能性について調査した記録はないのか？</li> <li>松山陸上競技場に市民総合プールを持っていく場合、同競技場地下水が利用できないと分かってても、<u>現在の地下水ポンプ設備を使って送水可能とあるが、送水管整備にはどの程度の費用がかかるのか？</u></li> </ul>  | <p>⇒再配置先が決定した後の、市民総合プールの基本計画や設計段階で実施する想定です。</p> <p>⇒調査した記録は、ありません。</p> <p>⇒地下水の利用については、評価したものではなく、参考としてお示したものであるため、送水管整備等に関する費用を試算する予定はありません。</p>  |
| 16  | <p>第4回再検討部会【資料1】駐車場、交通混雑(資料1の4P)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市はこれまで松山陸上競技場に<u>地下駐車場を整備する方針を明らかにしていたが、今回その整備費を挙げないのはなぜか。</u></li> <li>また、中部下水処理場跡地に近い市営茂里町駐車場(135台)の存在は省かれている。</li> </ul>  | <p>⇒(当日回答)平和公園の陸上競技場の地下駐車場について、整備は確定しているわけではありません。検討委員会で、長崎南北幹線道路が整備された際に、駐車場需要が出てきたら検討するという意味で資料に記載したものです。市民総合プールを平和公園内に再配置するだけあれば、既存の松山町駐車場で十分であると考えています。</p> <p>⇒市営茂里町駐車場は、長崎ブリックホールの附置義務駐車場となっており、市民総合プールの利用者を想定した規模となっていません。</p>                                  |
| 17  | <p>第4回再検討部会【資料1】駐車場、交通混雑(資料1の4P)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②スタジアムシティのスタジアムでのサッカーやアリーナでのバスケットボールの年間の開催試合数は限られている。2022～23年度、JリーグV・ファーレンの試合は年間41試合で、ホームである諫早市の「トランスコスモスタジアム」では土日に22試合開催された。月平均2回である。しかも、Jリーグが発表したように、2025年度からはJリーグの公式戦開催は秋～春に変わり、<u>夏の利用者が多いプールとはそれほど重ならないのではないか。</u></li> <li>バスケットボールのB1リーグの長崎ヴェルカの試合は長崎市内(油木町の県立総合体育館)では23年度、土日を中心に年間24試合という開催状況である。また、トランスコスモスタジアムのJリーグの試合も、あらかじめスケジュールが示されるため、陸上競技の大会などは協議調整して重ならないようにしており、<u>仮にプールが中部下水処理場跡地に移っても、同じような調整は可能ではないか。</u></li> </ul> | <p>⇒Jリーグのシーズン移行後の開幕は8月第1週頃となっており、市民総合プールの利用者が多い夏の時期と重なります。また、部活動での利用は学校のプールが使えない冬が多くなります。いずれにしても、中部下水処理場に市民総合プールが移設することで、茂里町周辺の交通量が増加することには変わりません。</p> <p>⇒大会やイベント等は調整できる可能性もありますが、日常的な利用で訪れる利用者の調整は困難です。特に、スタジアムシティは商業を含む複合施設であることから、イベント等の開催がなくても多くの方の利用が見込まれます。</p> |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑   | 回答  |
|-----|---|---|
| 18  | <p>第4回再検討部会【資料1】駐車場、交通混雑(資料1の4P)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③国道206号の1日当たり交通量について、市は令和3年度の国交省調査の数字を挙げて、宝町交差点が49,819台、松山町交差点が47,880台とし、前者については「スタジアムシティと隣接するため、試合やイベント、大会等が重なった際の交通混雑が懸念される」、松山町交差点については「スポーツ施設の再配置に伴う交通負荷は大きく変わらない」としている。私たちはスタジアムシティとの隣接に伴う交通混雑については、②で反論したが、松山町交差点について市の説明は、懸念事項に十分答えていない点を指摘したい。それは、現在の市民総合プールの位置に南北幹線道路のICができることに伴う交通混雑の問題である。県は同ICの1日当たり交通量を約8,000台とみており、206号から幹線道路への一定の交通量の移行は考えられるにしても、現在でも朝夕の渋滞が激しい松山町交差点一帯の交通混雑拡大が懸念されるところである。県の渋滞調査・シミュレーションの結果がはっきり出るまでは楽観視できるものではないであろう。</li> </ul>  | <p>⇒(仮称)松山ICができた場合、平和公園(西地区)周辺の交通量は増加しますが、長崎県において交通シミュレーションを行い、その結果を踏まえ、必要な対策が講じられるものと考えています。第4回再検討部会の資料では、必要な対策が講じられることを前提にスポーツ施設の再配置に伴う交通への影響を評価しています。そのため、平和公園内でプールを移転することに伴う新たな交通負荷は大きく変わらないため、中部下水処理場にプールを移転する場合に比べ、優位としました。</p> |
| 19  | <p>第4回再検討部会【資料1】公共交通機関のアクセス(資料1の3P)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の資料では、市民総合プールの移転候補地のうち、松山陸上競技場の場合、松山電停ならびに松山バス停から到達する市民総合プールの位置を同競技場のトラックカーブの辺りに設定して計測しているようだが、<u>実際のプール建設予定位置はもっと中心に寄るのではないか。</u></li> </ul>   | <p>⇒実際のプールの建設予定位置は、市民総合プールの基本計画や設計段階で確定するため、公共交通機関からの距離は、バス停や電停から最も近い敷地境界までの距離としています。また、中部下水処理場もバス停や電停から敷地までの距離として同一条件にて計測しています。</p>  |
| 20  | <p>第4回再検討部会【資料1】公共交通機関のアクセス(資料1の3P)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当会の実測は松山電停から私の足で100歩だが、実際の予定地とみられる位置までだと150歩(プール入り口が外周路と接する辺り)～210歩(同フィールド中心部辺り)である。同じく、松山バス停からだ、市の設定地点まで190歩、実際の予定地とみられる場所まで240歩～300歩。当会実測では、中部下水処理場跡地の場合、銭座町電停から300歩。銭座町バス停から330歩である。つまり、<u>両者の電停やバス停からの距離の差はほとんどないに等しい。</u></li> <li>JRの長崎、浦上両駅とのアクセスは中部下水処理場跡地の方が断然優位であり、今後、スタジアムシティ周辺の遊歩道などの整備が進めば、<u>中部下水処理場跡地の方が明らかに勝っていくと思われる。</u></li> </ul>  | <p>⇒両候補地のバス停や電停からの距離の差は、若干になりますが、定量的な評価の結果をお示しました。第5回再検討部会で提示する資料については、第4回で出された委員の意見も踏まえながら整理します。</p> <p>⇒JR駅からのアクセス性についても評価の対象とします。</p>  |
| 21  | <p>第4回再検討部会【資料1】場所性、機能性、街づくりとの兼ね合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①松山陸上競技場の場所に高さや敷地面積の制約などを受けつつ<u>小ぢんまりと造るよりも、県と協力して格段に充実した海洋県・水泳県長崎にふさわしい、九州随一のを整備することも可能になる。</u></li> <li>ちなみに現在の長崎市民総合プールの観客収容能力は1000人だが、佐賀市のアクアプールは1200席プラス仮設席600の1800席である。水泳連盟や游泳協会の委員も述べられたように、<u>現在のよう、ちゃんとした更衣室もないプールとはお別れしなければならない。</u></li> </ul>   | <p>⇒再配置先の検討にあたっては、再検討部会の中で決定した候補地の抽出条件(現状と同程度の規模(1.4ha)のプールが配置できる場所)から抽出しています。</p> <p>⇒新たな市民総合プールの規模や機能については、関係団体の要望等も踏まえながら、今後検討を行っていくこととなります。</p>   |
| 22  | <p>第4回再検討部会【資料1】場所性、機能性、街づくりとの兼ね合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②スタジアムシティにはサッカーJリーグのクラブの本拠地であるメインスタジアムのほか、プロバスケットボールチームの本拠地アリーナやサブアリーナ、ホテルなどが整備されることから、<u>選手たちやホテル宿泊者がプールを利用できる。</u>また、大きな水泳大会を誘致するに際しても、JR駅から至近距離で、<u>隣接の充実したホテルやショッピング・レジャー施設があることは強みになる。</u>また、スタジアムシティでのイベントや「出島メッセ長崎」での国際コンベンションのイベントなどによっては、<u>長崎遊泳協会独自の古式泳法、日本泳法による、立ち泳ぎしながら文字を書く「水書」や大名行列などを披露する新たな機会も生まれ、特に外国人観光客にとっては、スポーツと伝統文化が融合した、日本らしい、長崎らしい「おもてなし」として喜ばれることだろう。</u>このように、<u>プールを中部下水処理場跡地に再整備することは、明治のジャーナリスト、東洋日の出新聞社の鈴木天眼が瓊浦遊泳協会を設立して、それが長崎遊泳協会となり、長崎市水泳連盟とともに長崎の水泳普及と競技力向上に尽くしてきた歴史が新たなステージを切り開く可能性を提供するものといえるのではないか。</u>当会は、<u>長崎遊泳協会と長崎市水泳連盟の歴史に裏付けられた市民総合プールのポテンシャル(本来有する可能性)をより生かすのは、松山陸上競技場よりも中部下水処理場跡地だと断言したい。</u></li> </ul> | <p>⇒市民総合プールや陸上競技場の再配置によって、周辺の施設やまちに影響があると同様に考えており、第4回再検討部会資料1の連携性にて、記載させていただいております。第5回再検討部会では、改めて周辺施設との連携やポテンシャルを検討し、記載させていただきます。</p>   |



－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑   | 回答  |
|-----|---|---|
| 23  | <p>第4回再検討部会【資料2】第4回再検討部会では時間の関係で基本的に言い残した部分(400mトラックについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽質問1 市は400mトラックの必要性をどう認識しているのか？ 必要ないと考えるのであればその理由は？</li> <li>必要性は理解できるが、今回の再配置で実現するのは困難だからというのであれば、いつどのような方向での解決を目指すとするのか？</li> <li>400mトラックがなくなると、中高校生をはじめ松山陸上競技場利用者に大きな不利益がかかるという認識はあるのか、ないのか？</li> <li>▽質問2 200mトラックと100m走路を念頭に置いているが、その機能性や実用性についてどう考えているのか？・陸上競技関係者の話はよく聴いたのか？</li> <li>▽質問3 松山陸上競技場について「練習用トラックの整備費」として6,000万円の幅があるのはどういうことか？</li> <li>▽質問4 松山陸上競技場の整備費に外周路の費用は含まれていないように見えるが、ランニングなどに使われている 現在の外周路は廃止する意図か？</li> <li>▽質問5 資料2の2Pによると、仮に市民総合プールを中部下水処理場ではなく松山陸上競技場に持っていった場合、市は陸上競技場の移転先候補地として①平和公園内へ移転、②その他候補地へ移転、③柿泊に機能統合、の3パターンが挙げている。①のケースでは平和公園内のどのあたりにどの程度の整備ができるという想定なのか、②の想定候補地は？③の「機能統合」の内容は？</li> </ul> | <p>⇒資料2の内容(陸上競技場の候補地の評価)については、第4回再検討部会で議論に至らなかった。第5回再検討部会で提示する資料については、第4回で出された委員の意見も踏まえながら整理します。</p>          |
| 24  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回メール送信分でも述べたが、第4回再検討部会で市が示した「基礎費用＝深層地盤改良方式とし約15億円」「地下構造物の対策費用＝一部撤去を採用し、約10億円」の内訳、試算根拠を示してもらいたい。</li> </ul>   | <p>⇒No.11およびNo.12の回答をご参照ください。</p>   |
| 25  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料5Pの「基礎の整備費用」図解表の注釈欄に「現段階で確認できる情報(地盤条件や整備内容等)から施工方法を仮定し、算出した」とあるが、ボーリング調査はどのぐらいの深さまで実施し、概ねどのようなことが分かったのか？ 地盤の状況や整備内容など、もう少し詳しく説明してもらいたい</li> </ul>   | <p>⇒本検討の中で、ボーリング調査は実施していません。過去に中部下水処理場で過去に実施したボーリングデータを確認し検討等に反映しています。ボーリング内容は、No.8の回答をご参照ください。</p>           |
| 26  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5P図解表の左端「直接基礎(深層地盤改良)」の概要欄に「支持地盤が比較的深い位置に出現するため、地盤改良を併用した直接基礎を採用」とあるが、「地盤改良」と「直接基礎」(なお、この「直接基礎」という用語の使い方が紛らわしいと指摘する向きがある)を「併用」ということか？</li> <li>・ そしてそれは「地盤改良」と「杭基礎(場所打ちコンクリート)」を併用するという意味なのか？</li> </ul>  | <p>⇒ご質問のとおりです。また、直接基礎という用語は、一般的な建築および土木用語です。</p> <p>⇒地盤改良は、直接基礎の場合のみ使用することになるため、杭基礎(場所打ちコンクリート杭)では使用しません。</p> |
| 27  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5P図1「中部下水処理場の地下工作物(既存)イメージ」という図では、地下構造物の下に杭が打ち込まれているように見えるが、<u>現況の杭の長さ(深さ)はどのぐらいなのか？</u></li> </ul>   | <p>⇒No.9の回答をご参照ください。</p>  |
| 28  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回再検討部会で市の説明の中に「深さ13～15m」という言葉があったと理解しているが、「比較的深い位置」というのは地層のことで「<u>地表から支持地盤まで13～15m</u>」という意味か？ <u>それとも杭の打ち込み深度のことで「地下構造物の底面から支持地盤まで13～15m」ということか？</u></li> </ul>  | <p>⇒No.8の回答をご参照ください。</p>  |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑  | 回答   |
|-----|--|--|
| 29  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6Pの図解②「プールの周囲に山留を施工後に、地下構造物を一部撤去」とあるが、<u>山留工の規模はどのぐらいか？</u></li> <li>また、「一部」とはどのぐらいか？</li> <li>「地中に不測の鋼材等が存在している場合は山留工の整備が難航し、施工期間及びコストが想定以上に増加する可能性がある」とあるが、<u>下水処理場建設時の設計図書や今回実施したと思われるボーリング調査で鋼材などの配置状況はだいたい分かるのではないか？</u></li> <li>また、仮に予定外の位置に見つかるとしても、その場所は限られるのではないか？</li> </ul>  | <p>⇒No.12の回答をご参照ください。</p> <p>⇒市民総合プールを整備する範囲になります。</p> <p>⇒当時の設計図書や過去の調査結果ではわかりません。<br/>         なお、不測の鋼材等が存在した場合の対策費用については、懸念事項として記載したものであり、今回の試算結果には含めていません。</p> |
| 30  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支持地盤が深い位置にあるのなら、<u>地盤改良は「深く狭く」ではなく「浅く広く」した方がよくないのか？</u> そうすれば整備費用はもっと安くなるのでは。</li> </ul>   | <p>⇒No.11の回答をご参照ください。</p>  |
| 31  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約5千本あるとされる杭のうち、多くを残して一部を「増し杭」する方式が採れるとしたら、<u>撤去しなければならない杭はだいたいどのぐらいあるとみているのか？</u></li> </ul>   | <p>⇒No.13をご参照ください。</p>   |
| 32  | <p>第4回再検討部会【資料1】中部下水処理場跡地の整備費の試算根拠を示して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の市民総合プールの杭の長さはどのぐらいなのか？（第4回再検討部会で質問したと思うが、答弁がなかったと理解する）</li> </ul>   | <p>⇒No.9の回答をご参照ください。</p>   |
| 33  | <p>第4回再検討部会【資料1】新聞記事の整備費に食い違いはないか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2024年2月16日付長崎新聞によると、市は15日に文化振興審議会と「都心まちづくり構想検討委員会」に新たな文化施設建設地として市庁舎跡地を最適地と提示した際、中部下水処理場跡地は「軟弱地盤と地下構造物対策工事に約10億円が必要になる」との評価判断を示した、とある。これを普通に読めば、「<u>軟弱地盤対策工事費</u>」とは第4回再検討部会で市が示した「<u>基礎費用</u>」に当たるのではないか？<u>そうであれば、市が示した「基礎費用約15億円、地下構造物の対策費用約10億円</u>の合計約25億円は「<u>基礎費用と地下構造物対策費用合わせて約10億円</u>」とならないか。説明を求めたい。</li> </ul>                                | <p>⇒市民総合プールと新たな文化施設では、整備面積が異なりますので、基礎の整備費用と地下構造物の対策費用にも差が生じることとなります。</p>   |
| 34  | <p>第4回再検討部会【資料1】駐車場整備費が高過ぎないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門の技術者の話では駐車場の整備費用は一般的に㎡当たり約6,000円といわれ、3600㎡だと2160万円になる。土木企画課長からは第4回再検討部会で、民間と違って行政がやる場合は過去の実績に基づく基準がある」というような趣旨の説明があったと記憶するが、仮にそうであっても、<u>あまりにも開きが大き過ぎて説得力ある説明にはなっていない。</u></li> <li>参考に、これまでの市の駐車場整備の実績の中から、<u>駐車場整備の事業名、場所、広さ、事業費と項目別内訳、㎡単価を何件か例示して、よく分かるように説明してもらいたい。</u>長崎ブリックホールの所にある市営茂里町駐車場は中部下水処理場跡地にほぼ隣接しているから、同駐車場を平面自走式に整備し直した時の分を含めて。</li> </ul> | <p>⇒No.14の回答をご参照ください。</p>  |
| 35  | <p>第4回再検討部会【資料1】駐車場整備費が高過ぎないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1の表11「整備費用の試算結果」のうち、松山陸上競技場の部分は被爆死した人たちの遺骨が出てくる可能性が高いとみられるため、<u>工事の中断や遺骨収集後の安置が必要になることも考慮しなければならない。</u></li> </ul>  | <p>⇒遺骨については、市民総合プールの整備にどの程度影響を及ぼすか不透明であるため、その費用を試算することはできません。</p>  |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑  | 回答  |
|-----|--|---|
| 36  | 第4回再検討部会【資料1】「3 市民総合プールの候補地の総合評価(案)」について<br>・ ①機能性(敷地面積、形状)＝中部下水処理場跡地○、松山陸上競技場○(中部は松山より広く、高さ制限もない)   | ⇒ご意見として賜ります。  |
| 37  | 第4回再検討部会【資料1】「3 市民総合プールの候補地の総合評価(案)」について<br>・ ②大型バス等のアクセス性、公共交通、自動車(公共交通機関のアクセス、駐車場、交通混雑)＝中部下水処理場跡地と松山陸上競技場はほぼ同等(公共交通機関のアクセスはむしろ中部の方がやや良い)。<br>・ 駐車場は新たな整備費が必要になる点で松山の方が優れているが、市は中部を遊休地化せずに活用しなければならないため、それはいわば必要経費といえる。交通混雑は両地とも不安な面を残す)  | ⇒評価方法については、第4回で出された委員の意見も踏まえながら次回の再検討部会に向けて資料を整理します。<br>⇒駐車場については、跡地活用を図るうえで、駐車場の必要性や必要な駐車台数が異なりますので、必要経費とはなりません。   |
| 38  | 第4回再検討部会【資料1】「3 市民総合プールの候補地の総合評価(案)」について<br>・ ③経済性(整備費用、維持管理費用)＝中部下水処理場跡地と松山陸上競技場は実質的にほぼ同等か(中部の整備費用は現段階では試算根拠が不明確ながら松山より高くつきそう。ただし、中部の割高敷地整備費は駐車場のところで記した通り、プールの移設先になるか否かに関わりなく、有効活用のための必要経費といえる)。<br>・ 一方、松山にプールを移設整備する場合の陸上競技場練習用トラックの玉突き移転再整備費用＝約1.6～2.2億円と計上されているが、400mトラックは不可欠なのだから2.2億円で見なければならぬ＝は、県の移転補償費で手当てされず市の持ち出しとなる。維持管理費用は地下水利用の可否について判断材料がそろってないため不明) | ⇒市民総合プールを整備する場合には、明らかに中部下水処理場に整備する費用の方が高くなります。<br>⇒市民総合プールに限らず、跡地活用を図るうえでは、他の候補地と経済性の比較検討を行うこととなりますので、必要経費とはなりません。<br>また、土地をどのように活用するかによって費用は異なり、必ず係る費用でもありません。 |
| 39  | ・ 現市民総合プール建設費の50億には、国際体育館の解体費は入っているのか。   | ⇒市民総合プール建設費には、体育館の解体費(約2,000万円)も含まれている。   |
| 40  | ・ 1.4haの中には子供用プールも含まれているのか。  | ⇒子供用プールも含んでいる。  |
| 41  | ・ ボーリングデータは中部下水処理場を整備した時のデータか。いつのデータか。   | ⇒ボーリングデータは、令和3年に実施したデータである。   |
| 42  | ・ 令和3年のボーリングデータから、地下水位が高いと判定されているのか。   | ⇒ボーリングデータから地下水位が高い(地表から約4m)ことを確認している。   |
| 43  | ・ 令和3年のボーリングデータから地下水の量は分からないのか。  | ⇒令和3年に行ったボーリング調査は、地盤が十分な強度を備えているかを確認するものであり、調査目的が異なるため、地下水の量は調査していない。   |
| 44  | ・ 松山陸上競技場では液状化の可能性はないのか。   | ⇒液状化判定を行わないと正確な判断はできないが、ボーリングの土質や水位の状況から液状化の可能性は低いと考えられる。   |
| 45  | ・ 中部下水処理場と松山陸上競技場の地下水位はいくらか。   | ⇒中部下水処理場の地下水位は地表から4m程度、松山陸上競技場も4m程度と想定される。<br>なお、松山陸上競技場のボーリングデータはないため、近傍の市民総合プールのボーリングデータを使用し検討している。   |
| 46  | ・ 観客席は現状と同規模か。   | ⇒市民総合プールの規模や機能については、関係団体の要望を踏まえ、今後検討を行っていくことになるが、現状より観客席が増えることを想定している。  |
| 47  | ・ 更衣室等の改善は、資料や市民総合プールの荷重等に反映されていないのか。  | ⇒更衣室の荷重は考慮していない。<br>概略的な検討となるため、荷重は躯体やプール、設備などのみを考慮して検討している。  |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑   | 回答   |
|-----|---|--|
| 48  | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、杭がたくさんあるが、沈殿槽に近い杭は腐食しやすいなど、状況が違うと思うが、今ある5,000本のうち使えない数を判断できる材料はあるのか。</li> <li>当時の設計図書やボーリングデータから杭の強度は分かるのではないか。</li> <li>既存杭を利用しないのはもったいない。評価できるのではないか。</li> </ul>                                  | <p>⇒杭の強度を判断するための資料(建設時の設計図書)がないため判断することはできない。また、耐用年数を経過しているため、利用することは困難と判断している。そのため、市民総合プールの基礎の構造体として考慮していない。</p>  |
| 49  | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存杭を使わないのに抜かない理由は何か。産業廃棄物を残さないようにしないといけないのではないか。</li> </ul>  | <p>⇒既存地下工作物を完全に撤去しないとならない法的な根拠(廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)はなく、各自治体の判断に委ねられている。また、近年、既存地下工作物を撤去することによる不具合やトラブルが発生していることを背景に、「既存地下工作物の取り扱いに関するガイドライン」の中で、既存地下工作物を残置や再利用することも検討されている。既存杭は、中部下水処理場の地盤の安定性の確保及び周辺施設への影響を防止するため、存置することとしている。既存杭は、中部下水処理場の地盤の安定性の確保及び周辺施設への影響を防止するため、存置することとしている。</p>   |
| 50  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地下構造物の撤去だけで10億円もかかるのか。</li> </ul>  | <p>⇒地下構造物のコンクリートの破碎や撤去、運搬、処分、埋戻しなどの工種を想定し、概略費用を算定している。</p>   |
| 51  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな文化施設は面積が少ないが、プールは水が多く単位面積当たりの重さは軽くなるのではないか。妥当性を比較するため、内訳を明示してほしい。報道では文化施設だと地下構造物の撤去に10億円とあった。プールの場合25億円かかるが、その差は何か。面積の差と書いてあるが、建ぺい率ではないのか。</li> <li>載荷重は文化施設の方が大きいのに10億円で、なぜプールは25億円なのか。</li> </ul> | <p>⇒プールと文化施設では建物規模が異なるため、事業費に差が生じたものである。</p>   |
| 52  | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の地盤は、既存杭があることで安定している。邪魔な杭だけ撤去すればよいのではないか。</li> </ul>   | <p>⇒地盤の安定性の確保及び周辺施設への影響を防止するため、基本的に既存の杭基礎は存置することとしている。</p>   |
| 53  | <ul style="list-style-type: none"> <li>杭の撤去や地盤改良の試算は無駄ではないか。</li> </ul>   | <p>⇒杭や地下構造物の撤去、地盤改良の費用は、市民総合プールを整備する上で必要となるため、試算したものである。</p>   |
| 54  | <ul style="list-style-type: none"> <li>どちらの土地にプールを整備しても、杭の長さが変わるだけで本数は変わらないのではないか。</li> </ul>   | <p>⇒地盤改良長さのみ変わり、改良本数はどちらの候補地でも変わらない。</p>   |
| 55  | <ul style="list-style-type: none"> <li>深層地盤改良杭は何本か。</li> <li>200本の杭で15億もかかるのか。</li> </ul>   | <p>⇒深層地盤改良は、約2,200箇所を想定している。材料費や仮設工事費、運搬費、機械損料、労務費、掘削土処理費、消耗品、諸経費をメーカーヒアリングおよび見積を行い、確認しており、約2,200箇所の基礎にかかる深層地盤改良は、約15億円がかかる見込みである。</p>   |
| 56  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「直接基礎」は、支持地盤上に基礎を設置する方法のため表現が間違っている。</li> </ul>  | <p>⇒市民総合プールは、直接基礎(独立基礎)を想定し、直接基礎の範囲に、深層地盤改良を実施しているため、表現としては間違いではない。</p>  |
| 57  | <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場の整備費について、比較対象があれば判断しやすいので事例を2～3つほど提示してほしい。</li> <li>茂里町駐車場の整備費用はいくらだったのか。</li> </ul>  | <p>⇒直近の茂里町駐車場の整備事例から試算している。</p> <p>○茂里町駐車場の整備費用<br/>         収容台数:135台<br/>         整備内容:舗装工事、雨水排水施設、入出庫ゲート等の精算設備、照明設備等<br/>         整備時期:令和2年度<br/>         整備費用:(土木・電気工事)97,000千円+(精算設備)31,000千円<br/>         =128,000千円</p> <p>○中部下水処理場に駐車場を整備する場合の試算<br/>         収容台数:200台<br/>         物価上昇率:1.1<br/>         整備費用:(97,000千円/135台×200台+31,000千円)×1.1<br/>         =192,174千円<br/>         ≒2億円</p> |

－ 参考 － 長崎市営松山平和運動公園を守る会 南委員からの意見・質疑に対する回答

| No. | 意見・質疑   | 回答  |
|-----|---|---|
| 58  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Vファーレンの試合について、3月の諫早でのホーム戦は2試合で、1試合8,000人程度しか来ない。また、車の動線を見ても混雑するとは思えない。</li> </ul>  | <p>⇒長崎スタジアムシティは、サッカースタジアム(20,000席)のほか、アリーナ(6,000席)やホテル、商業施設、オフィスなどの複合施設で多くの来場者が見込まれており、隣接地に市民総合プールを配置する場合には、サッカーやバスケットの試合、イベント、水泳の大会等が重なった際の交通混雑が懸念されるため、記載しているものである。</p> |
| 59  | <ul style="list-style-type: none"> <li>スタジアムシティの横にプールができると交流人口が増加すると思う。</li> </ul>  | <p>⇒市民総合プールの再配置先が松山陸上競技場になった場合でも中部下水処理場になった場合でも交流人口の増加に寄与するものと考えている。</p>  |
| 60  | <ul style="list-style-type: none"> <li>守る会は市民代表としてきている。市民にはお金をかけても中部下水処理場にプールを移転していいという意見もある。</li> </ul>  | <p>⇒事業費が増えることによって、多くの市民の負担が増えることになるため、公共事業を進めるうえで、委員から出された評価項目である経済性の視点は重要な要素である。</p>   |
| 61  | <ul style="list-style-type: none"> <li>南部にはプールがないため、中部下水処理場にプールがあれば、南部から乗り換えなしでプールに行ける。</li> </ul>  | <p>⇒南部方面からのアクセス性については、中部下水処理場の方が優位と考えられる。</p>   |
| 62  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民のことを考えるのであれば、市民投票をすればよいのではないか。</li> </ul>  | <p>⇒平和公園スポーツ施設の再配置に関する再検討を行うために、再検討部会を立ち上げ、特に利用する水泳や陸上などの関係者も含めたメンバー構成で議論を行っているところである。</p>  |
| 63  | <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場の抽出条件で400mトラックが前提になっていないことが理解できない。</li> </ul>   | <p>⇒これまでの再検討部会の中で、多様なご意見があったことから、再配置先の抽出の段階では、トラックの最小規格である200mトラックの配置が可能な敷地を条件としている。</p>  |
| 64  | <ul style="list-style-type: none"> <li>400mトラックをなくす場合は、利用者がどこで練習するのか明示してほしい。</li> </ul>   | <p>⇒第5回再検討部会では、市民総合プールと陸上練習場について、場所性や機能性、アクセス性などの観点から評価を行い、議論していただく予定である。</p>   |
| 65  | <ul style="list-style-type: none"> <li>松山陸上競技場がなくなると広場でイベントができなくなる。広さがあるからイベントができている。</li> </ul>  | <p>⇒仮に松山陸上競技場に市民総合プールを配置する場合でも、その隣接地に一定の広さの広場は配置できる。</p>  |
| 66  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICができた場合の交通シミュレーションの説明がない。県に任せっぱなしで、市では確認していないのか。</li> <li>平成25年の交通量は5,500台/日程度で南北幹線ができると倍程度になる。対応の見通しは立っているのか。</li> </ul> | <p>⇒松山ICができた場合は、交通量が8,000台/日程度になると聞いている。松山ICの設置に伴う交通対策については、関係者で協議しながら検討しているところである。</p>   |
| 67  | <ul style="list-style-type: none"> <li>数値ではなく陸上競技場利用者や将来を担う子供たちの気持ちや想いを考慮してほしい。</li> </ul>  | <p>⇒再検討部会の評価項目については、これまで委員から出た意見を基に設定した内容であり、公平かつ公正な評価を行うためできるだけ客観的で定量的なデータをお示ししている。第5回再検討部会では、陸上練習場についても場所性や機能性、アクセス性などの観点から評価を行い、議論していただく予定である。</p>                     |